

まつもと 公民館報

発行
2018
11/30

●問い合わせ 中央公民館
TEL 32-1132 FAX 37-1153
●編集 公民館報編集委員会
●印刷 株式会社プラルト



シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 40

まつもと市民祭は発表の場 晴天の本丸庭園では…

日頃の研鑽の
成果を出し合う

11月3日(土・
祝)「第49回国宝
松本城少年少女
剣道なぎなた大
会」が開催されま
した。

大勢の豆剣士
たちが、日ごろの
稽古の成果を競
い合いました。本
丸庭園の芝生の
上で、4か所に分
かれて剣道の勝
ち抜き戦が行わ
れ、みな真剣に取
り組んでいまし
た。

武道を通じて、
相手との間合い
や礼の作法を身
につけ、成長して
いくことが楽し
みです。
大きく育ってい
くことを願いな
がら…。



マナーが徹底され整然と並べられた村井駅自転車駐車場

アルプスとお城の街である松本市は「史跡・名所・博物館などの文化施設がコンパクトにまとまっている街」「健康寿命延伸を積極的に取り組んでいく街」です。多くの観光客に街中を走ってもらうことを目的とした貸自転車「すいすいタウン」は、大きな成果を上げています。観光客にも、松本市は自転車で移動するの

自転車にマッチした街

広報まつもと11月号の特集として「11月21日(水)、平日にノーマイカーデー開催。車通勤をおやすみしませんか?」が組まれていました。松本市では車を優先した社会を転換し、歩行者や自転車・公共交通機関を優先した街づくりを進めています。身近な交通手段の自転車を改めて見直してみました。

松本の街と自転車



に適した街だと好評です。

自転車は学生の交通手段

松本市では、松本駅北・松本駅お城口・松本駅アルプス口・村井駅の4か所に有料自転車駐車場を設置しています。利用者の7割が学生で、村井駅はまだ余裕があります。松本駅付近の自転車駐車場はほぼ満車状況です。

バスの本数が少ないことや、駅からの距離がそれほど遠くないところに位置している学校が多いことから、自転車が高校生の最も有効な通学手段になっていることも松本市の特徴の一つです。

松本市の現状

海外では、地方都市でも車道・自転車専用道・歩道が区別して整備されており、安全な走行空間が確保されています。それに比べ、松本市はまだ整備が万全とは言えません。



車道と歩道の段差

城下町特有の道の狭さや曲がり角の多さなど、自転車が走行するには危険が多く、早急な整備が必要です。自転車は車道を通ることが原則ですが、松本市は道幅が狭いため、道路や自転車専用道路では車がすぐ横を通過します。怖くて走行できず、歩道がある道では歩道の車道側をゆっくり走行する傾向があるようです。歩行者と自転車が共用で



狭い車道を走行する自転車

きる歩道もあります。駅前大通りなど交通量の多い道路では、せつかく整備した自転車専用道路を使用せずに、近くの交通量の少ない道路を利用して多くの人が多くいるとが目につきます。

郊外で行ったアンケートでは、現状として若年層は路側帯や自転車専用道路を走行しているが、高齢者は歩道の走行が多いことがわかりました。また、これからの課題や要望として、道路の整備を望む人がほとんどで「車道と歩道の段差が大きい」「車道が狭いため側溝の蓋の上を走らなければならず怖い」「歩行者や自転車などの交通弱者に配慮しな

いドライバーが多い」との声が聞かれました。

これからの課題

公共交通機関が充実していない松本の街で、自転車はなくてはならない交通手段です。コンパクトに自転車で動き回れることは松本の街の魅力の一つです。また、美ヶ原高原や乗鞍高原で行われる自転車レースの知名度が高く、松本市は全国的にも自転車の街として注目されています。自転車ライフの充実を目指すには、ハード面の改善はもちろんのこと、ドライバーの安全配慮の啓発をますます充実させていく取り組みも必要です。

ちよこつと

松本さんぽ

～庭や公園の冬鳥 ジョウビタキ～

冬鳥として秋に飛来し、市街地から山地まで広く生息する。越冬中は雌雄に関係なく縄張りをつくっており、庭木の茂みなどに単独で見られることが多い。「ヒッヒッ」と鳴き、続けて「カッカッ」と声を出す。翼に「白斑付き」が見られることから、地方によっては「紋付」の異名がある。姿、眼、模様とも美しく人気の高い野鳥。



(撮影:2018.10.31)

松本市の取り組み

当初は宴会での食品ロスの削減を目的としていましたが、26年にはもうひとつの大きな発生源である家庭にも、児童への環境教育を通じて、30・10運動の呼びかけを始めました。保育園から家庭へパンフレット、チラシを、そしてアンケートを実施して浸透度を確認し、次に小学校を通じて啓発運動を拡大しました。

食品ロスの現状

日本全体で年間646万トン(27年)といわれている食品ロスは、世界全体の食料援助量のほぼ2倍に当たります。身近なところというと、国民一人あたり茶碗一杯のご飯が毎日捨てられているのです。このうち約45%は家庭から、残り約55%が飲食店や販売店などの事業者から発生しており、飲食店の場合、発生率が多いのが宴会です。

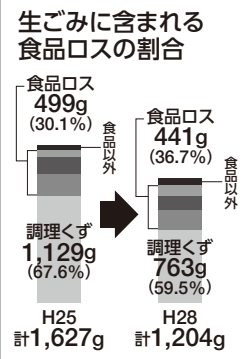
世界に広げれ「残さず食べよう! 30・10運動」

30・10運動は、宴会の乾杯後30分間とお開き前の10分間は自分の席で料理を楽しむという活動と、毎月30日を「冷蔵庫グリーンアップデー」、毎月10日を「もったいないクッキングデー」とする各家庭での活動の、2つの「30・10」を中心とした食品ロス削減の取り組みです。

松本市が実施した調査によると、28年の家庭生ごみの発生実績は25年に比べ、重量ベースで食品ロスが11・6%、調理くずやその他の生ごみを含む全体が26%と、それぞれ減量の効果が現れています。

28年には、飲食店、事業所に対してさらに運動の実効が上がるように、推進店・事業所認定制度をはじめました。

29年に推進店にアンケート



を実施したところ、40%強の店から肯定的な回答があり、商品材料の仕入れ量に気を配るようになったことが原価低減に結びついているなどの具体的な効果が報告されています。

運動の存在をより身近に感じてもらうために、30年9月から認定制度を小売店に拡大し、さらに10月25〜31日を食品ロス削減週間としてスーパ、コンビニなどにポスターを掲示しました。大型小売店では手つかずの食品ロスを減

運動の広がり

松本市の30・10運動も全国の自治体に大きな影響を及ぼし、28年10月に食べきり運動の普及・啓発のための全国組織「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」が設立されました。また、29年10月に第1回食品ロス削減全国大会が松本市で開催されました。

世界の貧困撲滅の観点からも、食品ロスの削減は国連でも注目されています。私たち

の取り組みや心がけを世界に広げていきましょう。

「来年も機械の調子が良く、秋の作業が順調にできることを願っている。自分たちの体をいたわりながら。」

写真でつづる
まつもとの今昔④1
～本町のアーケード～



(1996.11.9 写真提供: 日本報道写真連盟)
アーケードが付いた歩道は、雨天時には濡れないで良かった。屋根も2階から下がって、広びろとしていた。



(2018.11.1 撮影)
アーケードが取り払われたら、道路の広さが改めて体感でき、開放的な街並みになった。

おこひる

猛暑の夏も終わり、9月に入って台風と長雨が続き、農家にとってはもう雨はほしくないと痛感した▼少しだけ作っている水田

の稲刈りは、毎日天気予報を気にして、9月中旬に実家の兄と主人、私の3人で、行い、はげ掛けとシート掛けを一日かけて済ませた。その後、雨が降り出した▼一昨年は台風に見舞われ、全てのはげが倒れる苦い経験をした。今年もまた台風24号が日本列島を縦断するとの予報。来ないことを願っていたが次の朝、短いはげが倒れてしまっていた。田植えをするほどの水の中、掛け直した。また次の朝「長いはげが風で倒れた」と近所の人から連絡があった。今度は兄夫婦と私たちが泥の中で掛け直した▼晴天も続いたのでようやく脱穀し、はげの片付けも終わることができた。苦勞の甲斐があつて、新米の甘い香りとほっとした気持ち、幸せをかみしめて食べた。来年も機械の調子が良く、秋の作業が順調にできることを願っている。自分たちの体をいたわりながら。」

歴史探訪 探ろう松本 8

鉢伏山麓の緑あふれる寿地区

松本の東側に位置し住宅と農地が点在して、人口が急増している地区です。

地区の現状

鉢伏山の麓に位置する寿地区は、牛伏川と田川、赤木山、中山丘陵に囲まれた12町会で構成され、住宅地と商工業、米や果樹を中心とした農業地帯が点在する地域です。

人口は11月1日現在、1万4279人、世帯数は5972世帯であり、人口は35地区で5番目、世帯数は4番目に多い地区です。

歴史と文化

明治4年の廃藩置県当時は百瀬、南百瀬、竹瀬、下瀬黒、上瀬黒、白姫、白川、小池、赤木



みみきつさまと親しまれる耳塚古墳

の9か村に分かれていましたが、明治7年に合併して豊丘村となります。その後、明治16年に小赤村、白瀬瀬村、豊丘村に分村しますが、明治22年の市制町村制の施行によって合併し、寿村となります。長野県には、小赤の「こ」、豊丘の「と」、白瀬瀬の「ぶ」で「寿」としたと報告されています。昭和38年に寿田町が、昭和40年に豊町が、平成元年に竹原町が寿田町から分町会として生まれました。寿田川は、平成12年に誕生して現在の12町会になりました。

寿の名所

寿地区には古くからの名所が多くありますが、赤木の弘長寺のアジサイは、遠方からたくさんのお客様が訪れるほど有名です。また、百瀬にはみみきつさまと呼ばれる耳塚古墳や、市の特別史跡に指定されている百瀬陣屋跡などがあります。



負けるもんか！ 駅伝大会

守られる伝統と新たな活動

全市でも珍しい駅伝大会や戦前から続く運動会は、地区の結束の証です。運営母体の寿体育協会が努力していることも功を奏しています。

昨年度、子どもたちが安心して学び、世代間交流を深め、未来の担い手を育成するための活動として「にこにこルーム応援隊」が発足しました。また、託児ボランティア「寿ペンギンの会」など、これまでの地区の幼児・児童の育成活動が結実した活動が生まれています。

地区の歴史・文化・自然環境・団体など、全てが地域づくりの資源になり得るものです。そして何よりここに住む人こそが地区の一番の財産であり、そこから新たな資源を作り出していくことが重要だと考えています。

わがまち自慢 第23回

第11回ドリーム庄内・秋のつどい 防災運動会

10月21日開催

ドリーム庄内の一貫した考え方は次の三つでした。

- 子どもから大人まで、絆を深め、地域の連帯感をはぐくむ場
- お互いに地域を知り、地域を愛する心を養う場
- 顔の見える地域へ、ひろがりへと深まりが再認識できる場

楽しめた防災運動会

小中学生の演奏から始まり、防災障害物リレー、綱引き、三世代リレーなど続き、最後にパン食い競争が行われ、昼食にはカレーライスが振る舞われました。グラウンドには、救急車や消防車の見学場所もありました。幼児から80代までの参加者は約400人でした。参加者からは、「今日は大変楽しめた。来年も参加したい」という感想が聞かれました。今後は、若い世代を増やすことが期待されます。



土のうを乗っけて、毛布担架

地産地消のかんたんレシピ

磯の香りが漂う

『ワカメとねぎの酢味噌和え』

松本一本ねぎとの相性が抜群!!

材料：松本一本ねぎ、ワカメ、味噌、酢、砂糖

1. ワカメはお湯で戻しておき、さっと湯がく
2. ねぎは5cmに切り、半分に割って細切りにして、軽く茹でる
3. ボールに砂糖、味噌、酢を加えて、よくかき混ぜる
4. 3に水切りした1・2を入れて和える

